

「第18回経営交流会」

自分で設計したい

自分で家を建てたかった

吹田民商 北支部 下井戸工務店 下井戸 敏さん
 3月19日(水)に行われた経営交流会には事務局も含め、11名が参加しました。竹田副会長の司会で参加者全員の近況報告を行いました。

下井戸さんの報告に先立って、西尾事務局長から先月の交流会の佐登さんから学ぶ点が報告されました。

続いて下井戸さんが報告を行いました。下井戸さんの実家は岩手県で父親が大工をしていたことから、中学を卒業後に父親の兄弟子さんの所へ修行に出ました。21歳のときに「自分で設計して家を建てたい」との思いが強くなり、全国でも1校しかない建築士養成の専門学校へ入るため単身大阪へ。昼間は工務店でアルバイトをし、夜に学校へ通ってきました。その様な頑張りの中、わずか1年で建築士になることができました。お客さんが付くまで苦労しましたが、受けた仕事を丁寧にしつちり行い、アフターサービスもしつかりやってきたことで紹介が多くなってきました。31歳の時に始めて自分で設計して家を建てました。

「覚悟と責任」眠れない夜も

この業界では、リフォームなどの際、よく物がなくなったりすることがあります。下井戸さんは施主さんから外注の職人も含めて信頼され、今では鍵を預かれるまでになっています。この信頼は毎日の積み重ねで培ってこられました。1日の仕事が終わる職人を帰した後、タバコの火の始末ができていないかも含めて、30分は現場で待機、掃除など行ってきました。何かあれば自分の責任と自覚しています。また、仕事の内容によって非常に大きな金額になるので、仕事を終えて施主さんに引き渡した後、本当にお金が貰えるだろうか不安になることもあります。「お金が貰えないかも」という覚悟と施主さんや外注さんへの責任がなければ、やっていけない」と語られています。

いま、建設資材や行程等どんどん変わっています。この間も断熱材の講習会に行ってきました。新しい技術を取り入れないと建築確認がおりないこともある。日々勉強をしないとダメです。

一番うれしいことは、施主さんに喜んでもらったとき、そこから紹介も生まれたときです。昔、自分が建てた家からリフォームの発注があり、若い職人を連れて行ったときに家を見て「手の込んだしつかりした仕事やな」と関心される時もありやって良かったなと思います。

報告の後、感想交流が行われました。田原さんから「建設業界でもそうだと思うが、機械の製造などでも、ある部分のスペシャリストはいるが全体を把握している人が少なくなっている。そういう意味で、日本の技術を継承していくことはすごく大切なことだと思う」と感想を述べられていました。

また、多くの方から「覚悟と責任」の意味は本当にそうやなと出されました。

この「覚悟と責任」は何の仕事をして行くうえでも決して忘れてはいけないことではないでしょうか。最後に次回の報告者を中央支部の村上さんにすることを決めました。



伝言板

「覚悟と責任」の意味を強調する下井戸さん
 向かって左が下井戸さん、右は竹田副会長



労働保険年度更新実務会

*いずれも民商事務所で行います。認印、代表者印を持ってきて下さい。

- 4月3日(木) 夜7時
- 4月8日(火) 昼2時 夜7時
- 4月10日(木) 昼2時 夜7時
- 4月21日(月) 昼2時
- 4月24日(木) 昼2時 夜7時

事業主として知っておきたい労働法

講演内容

- 労働者を雇い入れる事の意味
- 労働争議や労働者とのトラブルの事例から事業主として行うべき事

講師

- 弁護士 鎌田 幸夫さん(お昼の部)
- 弁護士 徳井 義幸さん(夜の部)
- 4月8日(火) 昼2時 夜7時

*労働保険実務会は講演の後にを行います。

商工新聞は経営のヒント・くらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう

会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までに集めましょう